

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 1月号

令和5年1月6日(金)

048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<http://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>



学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』
たしかな学力
ゆたかな心情
たくましい身体

好奇心や疑問を持つ

～若田宇宙飛行士応援プロジェクトを通して感じたこと～

校長 とみた ひでお
富田 英雄

新たな1年が始まりました。旧年中は、保護者や地域の皆様におかれましては、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。昨年も新型コロナウイルス感染症対策を講じながら教育活動を行ってきましたが、今年もその状況は続きそうです。1日も早く通常の学校生活に戻ることを切に願いつつ、引き続き感染症対策への御協力のほど、よろしく願いいたします。

さて、さいたま市出身の若田光一 JAXA 宇宙飛行士が、昨年10月から日本人最多となる5度目の宇宙ミッションに挑んでいます。さいたま市教育委員会では、若田宇宙飛行士を応援する様々なプロジェクトを実施していますが、本校では、先月、「若田宇宙飛行士応援メッセージ動画」に応募しました。これは、参加校が制作した応援メッセージ動画(1校15秒程度)をつなぎ合わせて編集したものを国際宇宙ステーションに滞在している若田宇宙飛行士に贈る企画です。本校は、「大宮北中モデルロケット教室」(令和3年10月実施)に参加した生徒が、その時のモデルロケットの打ち上げ映像とともに「私たちはロケットを打ち上げました。若田さんも宇宙で頑張ってください!」という動画を作りました。若田宇宙飛行士もきっと喜んでいただけるのではないかと期待しています。その若田宇宙飛行士ですが、10月に開催されたさいたま市子どもたちとの交信イベントで、「今回のミッションで一番楽しみにしていることは何ですか」、「くじけそうなきときはどうしていますか」などの質問1つ1つに対し、とても丁寧に答えられていました。それは、今回に限ったことではなく、私はこれまで何度か若田宇宙飛行士の講演会を聞く機会がありましたが、時間の許す限り子どもたちにわかりやすいように丁寧に説明されていました。そして今回もそうでしたが、「いい質問だね」と言ってから質問に答えることが多いのです。若田さんは講演や著書などで、子どもたちへのメッセージとして、「探究心」は新しい時代を切り拓く原動力であり、そのため、好奇心や疑問を持つことが大切だとお話されています。おそらく、若田宇宙飛行士は、子どもたちが好奇心や疑問をもって質問すること自体が大切であり、さらには、できる限り納得してもらえようように子どもたちと接しようとお考えになっているのではないかと推察いたします。

本校の課題でもある「学びの自律化、探究化」に向け、「不思議だな」と思ったり、「ここがわからない、知りたいな」と疑問をもったりしたとき、生徒には、本やタブレットなどで調べたり、他人に聞いたりするようにしてほしいと思います。「こんなことを聞いたらはずかしい」と質問を躊躇してしまう生徒もいるかもしれませんが、生徒同士でお互いに教え合ったり、遠慮なく先生や大人に聞いたりしてほしいと思います。また、質問を受けた私たちは、真摯に対応しなければならないと若田宇宙飛行士と子どもたちへの接し方を見て、つくづく感じました。